

最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出は10.9%の大幅増～

日本機械輸出組合 2012.5.17.

3月の機械輸出額は、4兆1,349億円、対前年同月比10.9%増と大幅な増加となった。これは、北米向けが自動車に牽引されて大幅に増加したこと、また、その他地域、ASEAN向けも2桁増となったこと、機械輸出額の約1/3を占める自動車が約35%増と大幅に拡大したこと、昨年3月の輸出額が大震災で大幅に落ち込んだことが主因である。

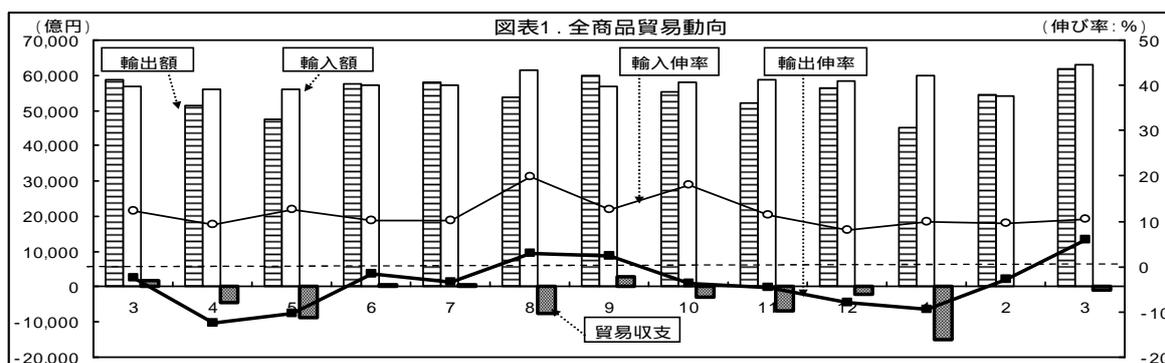
4月については、円高是正が進み、営業日も昨年と同じで、1.4%の僅かな減少要因で止まっていること、実質伸び率が増加していること、前年4月の機械輸出額が大幅に落ち込んでいることから、2桁増となる可能性が高い。因みに、4月上中旬の全商品輸出額は、15.6%増となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は6ヶ月ぶりのプラス、貿易収支は再び貿易赤字～

1)平成24年3月の全商品輸出額は6兆2037億円、前年同月比(以下同じ)5.9%増と6ヶ月ぶりのプラスとなった(2月2.7%減)。これは、全輸出額の23%を占める輸送用機器(25.4%増)、18%の電気機器(6.1%増)等が増加となったことによる。

2)輸入額は6兆2,882億円、10.6%増と2ヶ月増の高水準にあり2年3ヶ月連続の増加となった(2月9.3%増)。これは、全輸入額の約36%を占める原油・ガス等鉱物性燃料(29.5%増)が高水準の伸びを続けているほか、約3%の自動車、航空機类等輸送用機器(45.9%増)、約7%の電算機等一般機械(6.6%増)が増加したためである。

3)この結果、3月の貿易収支は845億円の入超となり、1月以来、2ヶ月ぶりに貿易赤字となった。

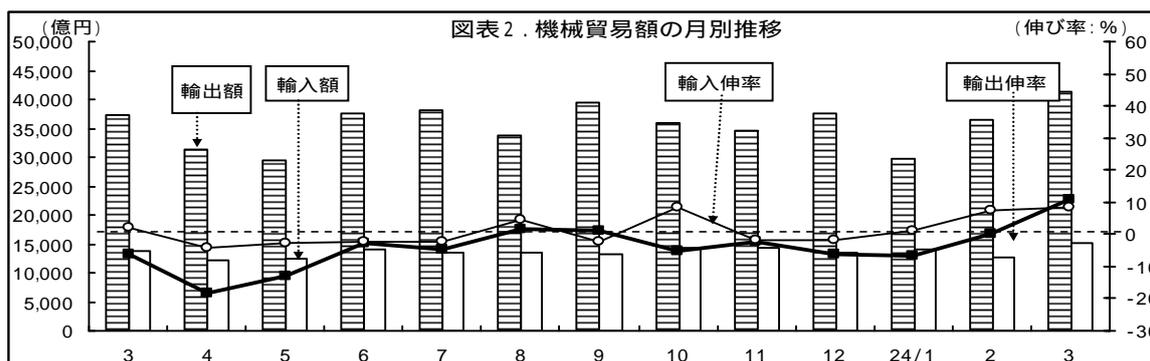


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は2ヶ月連続、輸入は3ヶ月連続プラス～

1)全商品輸出額の約67%を占める3月の機械輸出額は4兆1,349億円、10.9%増と2ヶ月連続でプラスとなった(2月0.3%減)。なお、昨年3月には、大震災の影響で機械輸出は6.3%減と落ち込んでいるが、一昨年の3月と比べても3.9%増となっており、全体的に回復傾向を示している。ただし、輸出額の水準は、リーマンショック前の平成20年3月に比べると、79%とまだ大きく落ち込んでいるが、前月から2ポイント改善した。

2)一方、全商品輸入額の24%を占める機械輸入額は、1兆5,049億円、8.3%増と3ヶ月連続でプラスとなった(2月7.7%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の87.9%と前月より2.8ポイント上昇した(2月85.1%)

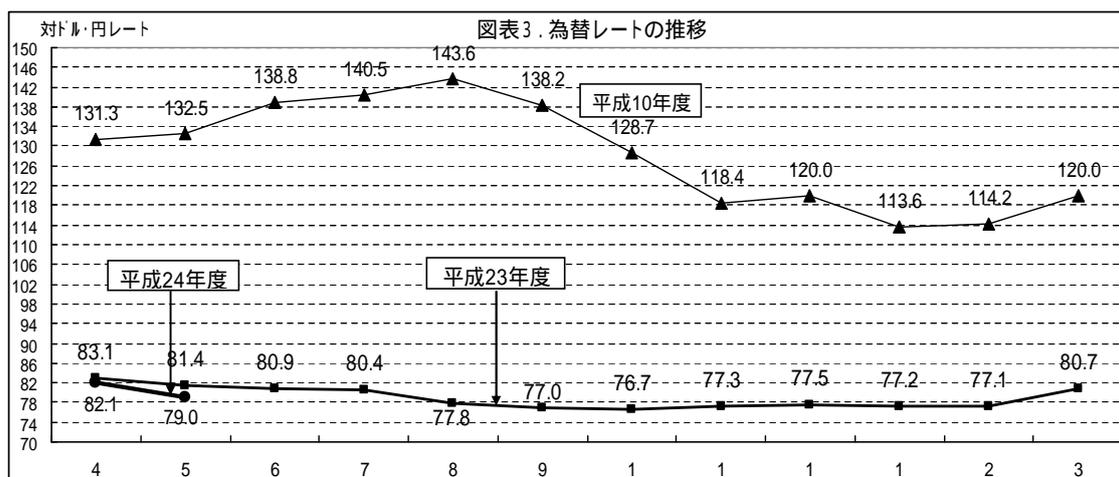


(2) 為替動向・営業日～3月の為替・営業日は6.7%の減少要因、4月は僅かな減少要因～

1) 3月は1ドル=80.7円とやや円安に動いたが、前年比2.1%の円高であり、また、対ユーロ=106.7円では6%の円高となり、合計2.2%の僅かな為替減少要因となった。一方、営業日は前年に比べ1日少なく、4.5%の減少要因となり、合計6.7%の減少要因となる。3月については、前年の機械輸出額が大震災で大きく落ち込んだために正確な計算はできないが、3月の機械輸出は10.9%増であったので、為替、営業日要因を除く実質伸び率は約18%増と大幅な伸びとなっている。

2) 4月は1ドル=82.1円と円安はさらに進んだが、前年比では1.2%の円高であり、また、対ユーロ=108.4円では7.7%の円高となり、合計1.4%の僅かな為替減少要因となった。営業日は同じなので、合計1.4%の僅かな減少要因となる。

3) 5月は、対ドルが現状の79円台とすれば2.9%の円高となり、また、対ユーロが現状の103円とすれば12.6%の円高となり、合わせると2.7%の為替減少要因に止まる。営業日は前年に比べ2日多く、10.5%の増加要因となり、合計7.8%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けが大幅増、中国、EU向けは6ヶ月連続減少～

1) 機械輸出が増加した地域的要因は、機械輸出額の21%を占める北米向けで、輸出額の46%占める自動車(49.2%増)が大幅増となったほか、建設機械(71.6%増)、デジカメ(51.5%増)、工作機械(37.3%増)、通信機械(46.8%増)等が寄与して31.7%増と5ヶ月連続でプラス成長となったこと、約23%を占めるその他地域向けでは、中近東、大洋州、ロシア東欧、アフリカ向けが2ケタ増となり、機種では、全体の51%を占める自動車(45.3%増)、建設機械(60.1%増)、重電気機械(39.6%増)の増加が寄与して19.4%増となったこと、28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムが2ケタの大幅増となり、業種では、韓台向け電子応用装置、光学機械、ASEAN向け自動車、産業機械が増加し、13.6%増となったことによる。

2) 他方、機械輸出額の約10%を占めるEU向けでは、全体の30%を占める自動車(11.8%減)、約17%の産業機械(24.3%減)等の減少が響き12.8%減と大幅な減少となった。同17%を占める中国向けは、全体の20%を占める半導体製造装置等産業機械(18.0%減)、民生用電子部品(11.9%減)、建設機械(42.6%減)等が大幅に減少し、4.9%減と6ヶ月連続マイナスとなった。

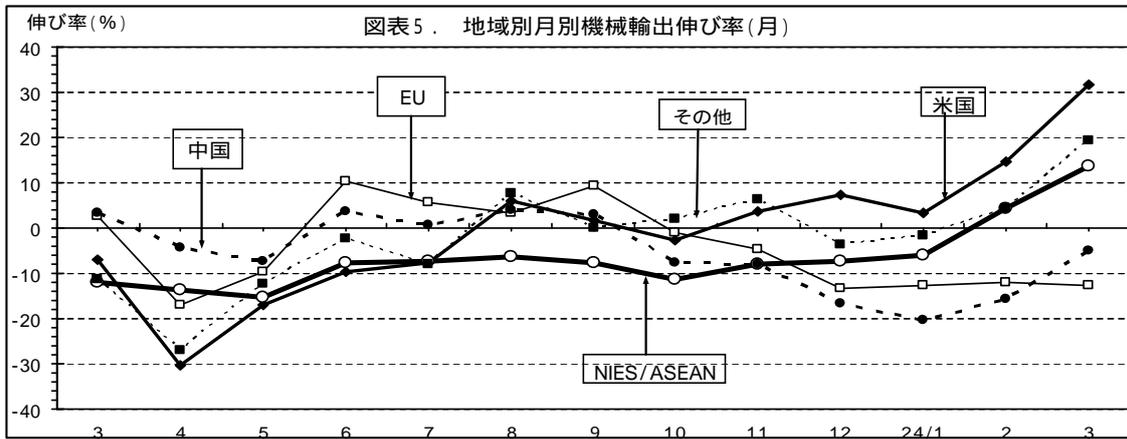
3) また、リーマンショック前の平成20年3月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは中国のみで、NIES/ASEAN、北米が80%台、その他の地域は70%台、EUは40%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/1			2012/2			2012/3			対08年3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	29,838	6.6	100	36,606	0.3	100	41,349	10.9	100	0.78
北米	6,600	3.4	22.1	8,429	14.7	23.0	8,847	31.7	21.4	0.80
EU	3,674	12.8	12.3	4,213	11.9	11.5	4,278	12.8	10.3	0.49
NIES/ASEAN	8,142	6.1	27.3	9,966	4.5	27.2	11,712	13.6	28.3	0.89
中国	4,557	20.2	15.3	6,221	15.7	17.0	7,107	4.9	17.2	1.06
その他	6,866	1.6	23.0	7,778	4.5	21.2	9,404	19.4	22.7	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/12		2012/1		2012/2		2012/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,994	1.9	1,605	0.8	1,817	6.6	2,089	7.2
台湾	1,631	19.7	1,129	30.8	1,552	14.3	1,655	12.9
香港	1,507	20.4	1,177	8.5	1,341	8.0	1,576	10.4
タイ	1,444	14.1	1,349	0.5	1,890	22.1	2,278	45.0
シンガポール	980	5.5	721	19.7	759	7.7	1,008	9.5
インドネシア	996	15.5	769	42.5	856	25.3	1,148	80.9
マレーシア	735	22.9	613	8.4	749	4.3	809	3.0
フィリピン	586	18.4	471	6.9	551	31.3	599	41.4
ベトナム	375	18.7	221	9.4	325	24.9	422	50.2
その他地域								
中南米	2,018	20.8	2,476	1.5	2,364	15.2	2,751	1.7
中近東	1,379	13.0	1,216	10.6	1,648	12.9	1,818	35.5
大洋州	1,227	27.1	1,119	3.1	1,202	5.2	1,605	70.0
ロシア東欧等	1,034	1.3	913	16.1	1,291	4.8	1,357	17.8
アフリカ	814	18.8	599	21.9	633	20.6	1,129	35.7
インド	551	15.8	380	27.6	488	12.1	547	14.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～自動車牽引、重電気機械、軽機械、建設機械、工作機械も2ケタ増～

- 業種別では、全19業種中プラスとなったのが11業種で、前月より6業種増加した。全体の約32%を占め機械輸出を下支えしている自動車(34.7%増)が2ケタの大幅増となったほか、重電気機械(13.2%増)、軽機械(16.9%増)、建設機械(37.1%増)、工作機械(25.6%増 2年2ヶ月連続)等が大幅増となった。他方、電子デバイス(9.2%減 15ヶ月連続)、船舶(15.8%減)、民生用電子機械(13.5%減 13ヶ月連続)、繊維機械(25.1%減 8ヶ月連続)等が大幅なマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械、工作機械、重電機械、ベアリング、の4業種で、電子計算機、産業車両、通信機械、民生用電子機械は40～60%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2012/1			2012/2			2012/3			対08/3比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	9,754	0.7	32.7	自動車	12,664	4.3	34.6	自動車	13,175	34.7	31.9	0.72
産業機械	4,906	14.1	16.4	産業機械	6,646	0.6	18.2	産業機械	7,231	2.0	17.5	0.88
電子デバイス	2,300	15.6	7.7	電子デバイス	2,721	5.9	7.4	電子デバイス	3,037	9.2	7.3	0.75
船舶	2,470	8.3	8.3	船舶	1,621	3.8	4.4	船舶	2,212	15.8	5.3	0.74
軽電気機械	1,419	14.2	4.8	軽電気機械	1,710	11.4	4.7	軽電気機械	1,995	3.0	4.8	0.75
民生用電子機械	1,272	12.0	4.3	民生用電子機械	1,538	6.2	4.2	民生用電子機械	1,993	13.5	4.8	0.61
重電気機械	1,350	6.6	4.5	重電気機械	1,744	2.1	4.8	重電気機械	2,413	13.2	5.8	1.10
軽機械	1,016	3.7	3.4	軽機械	1,272	0.3	3.5	軽機械	1,519	16.9	3.7	0.80
光学機械	987	5.9	3.3	光学機械	1,169	3.1	3.2	光学機械	1,254	0.8	3.0	0.95
建設機械	1,046	13.3	3.5	建設機械	1,242	1.1	3.4	建設機械	1,649	37.1	4.0	0.84
工作機械	657	30.8	2.2	工作機械	933	22.1	2.5	工作機械	1,163	25.6	2.8	1.11
通信機械	391	15.1	1.3	通信機械	455	2.9	1.2	通信機械	540	17.0	1.3	0.54
電子計算機	346	15.3	1.2	電子計算機	418	1.6	1.1	電子計算機	505	3.4	1.2	0.46
ベアリング	285	13.3	1.0	ベアリング	345	10.0	0.9	ベアリング	395	7.0	1.0	1.07
陸用内燃機関	295	10.1	1.0	陸用内燃機関	387	10.2	1.1	陸用内燃機関	448	3.1	1.1	0.94
医療機械	224	14.6	0.8	医療機械	295	3.9	0.8	医療機械	423	17.1	1.0	1.41
繊維機械	118	19.4	0.4	繊維機械	179	24.7	0.5	繊維機械	207	25.1	0.5	0.72
農業機械	117	18.0	0.4	農業機械	148	3.0	0.4	農業機械	178	25.8	0.4	0.78
産業車両	99	2.8	0.3	産業車両	132	3.7	0.4	産業車両	141	1.9	0.3	0.53
19業種合計	29,052		97.4	19業種合計	35,619		97.3	19業種合計	40,478		97.9	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:テジカ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～発電機、デジカメ、乗用車は好調、繊維機械、半導体製造装置等は大幅減～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、ASEAN、北米、中国等向け**発電機(63.1%増)**、中国、北米、ASEAN等向け**デジカメ(41.9%増)**、北米、ASEAN、その他地域等向け**乗用車(39.3%増)**、ASEAN、韓国・台湾、EU等向け**電子顕微鏡等電子応用装置(19.9%増)**、ASEAN、北米、その他地域等向け**建設機械(37.1%増)**、ASEAN、中国、韓国・台湾等向け**磁気カード・ディスク等(26.0%増)**、中国、その他地域、北米等向け**農業機械(25.8%増)**、ASEAN、北米、その他地域等向け**工作機械(25.6%増)**となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、**繊維機械(25.1%減)**、**半導体製造装置(17.4%減)**、**船舶(15.8%減)**などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/1			2012/2			2012/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	657	30.8	電子応用装置	64	77.0	発電機	242	63.1
金属加工機	214	21.0	原動力機械	499	35.7	デジカメ	794	41.9
貨物自動車	650	20.4	発電機	119	25.6	乗用車	7241	39.3
産業用ロボット	83	10.5	工作機械	933	22.1	電子応用装置	76	38.7
建設機械	1,046	13.3	貨物自動車	816	19.9	建設機械	1649	37.1
機種合計	2,650	8.9%	金属加工機	298	18.7	磁気カード・ディスク等	198	26.0
			機種合計	2,729	7.5%	農業機械	178	25.8
						工作機械	1,163	25.6
						機種合計	11,541	27.9%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/1			2012/2			2012/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,090	31.5	繊維機械	179	24.7	繊維機械	207	25.1
電子応用装置	25	28.1	運搬機械	205	15.1	半導体製造装置	1,317	17.4
原動力機械	297	27.5	民生用電気機械	281	13.5	船舶	2,212	15.8
録画・再生機器	11	21.9	半導体製造装置	1,374	12.0	機種合計	3,736	9.0%
繊維機械	118	19.4	民生用電子部品	689	11.9			
農業機械	117	18.0	軽電気機械	1,710	11.4			
時計	58	16.7	陸用内燃機関	387	10.2			
電子デバイス	2,330	15.6	機種合計	4,825	13.2%			
電子計算機	346	15.3						
医療機械	224	14.6						
機種合計	4,616	15.5%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯、乗用車、自動車部品が大幅増～

- 1) 3月の機械輸入伸び率は8.3%増と3ヶ月連続でプラスとなったが、その要因は、二大輸入機種である**電子計算機(7.0%増)**が2ヶ月連続増加となった他、**携帯電話(28.4%増、2年8ヶ月連続)**、**乗用車(18.5%増、8ヶ月連続)**、**航空機(5.6倍増)**が大幅増となったことなどによる。

一方、二大輸入機種である**電子デバイス(0.3%減)**は依然マイナスが続いている他、**光学機械(6.5%減)**、**医療機器(3.2%減)**、**重電気機械(2.3%減)**は減少となった。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、**電子計算機**、**携帯電話**、**白物家電**、**TV**、**医療機器**、**エアコン**、**時計**、**録画・再生機器**、**ラジオ**となっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、**中国(7.1%増)**、**北米(34.6%増)**、**EU(10.6%増)**、**ASEAN(2.1%減)**、**韓国・台湾(2.4%増)**の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2012/1				2012/2				2012/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,496	16.5	10.7	電子計算機	1,625	11.7	12.9	電子計算機	1,896	7.0	12.6
電子デバイス	1,367	18.9	9.8	電子デバイス	1,277	7.2	10.1	電子デバイス	1,421	0.3	9.4
携帯電話	861	96.7	6.2	携帯電話	751	84.7	6.0	携帯電話	760	28.4	5.1
自動車部品	696	8.9	5.0	乗用車	631	42.1	5.0	乗用車	735	18.5	4.9
重電気機械	625	5.9	4.5	自動車部品	584	10.6	4.6	自動車部品	685	10.8	4.6
乗用車	616	31.9	4.4	重電気機械	543	3.4	4.3	重電気機械	629	2.3	4.2
航空機	528	34.9	3.8	医療機器	464	2.2	3.7	航空機	614	558.8	4.1
白物家電	512	7.0	3.7	白物家電	389	3.9	3.1	白物家電	559	13.7	3.7
医療機器	429	4.9	3.1	航空機	320	1.0	2.5	医療機器	534	3.2	3.5
光学機械	337	6.9	2.4	分析・試験・検査機	303	10.4	2.4	光学機械	335	6.5	2.2
民生用電子部品	301	10.4	2.2	光学機械	264	19.5	2.1	民生用電子部品	313	2.2	2.1
TV	285	52.2	2.0	民生用電子部品	254	4.6	2.0	分析・試験・検査機	307	4.6	2.0
12機種合計	8,053		57.7	12機種合計	7,405		58.8	12機種合計	8,481		56.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械